

## 合格体験記

2021年にMMCの通信コースを受講し、2次試験に合格することができましたM.S.です。(50代男性)この1年間での学習内容や、実際にMMCを受講しての感想等を記載致します。今後MMCで学習をされる方、また現在MMCでの学習を検討されている方々に、少しでも参考になれば幸いです。

### ■受験歴

平成12年度以前：1次試験合格、2次試験不合格

令和3年度：2次試験合格

かなり昔に1次試験を合格し、2次試験の受験資格を持っていたため、2次試験一本で学習を行いました。

### ■MMCを選んだ理由

効率的な学習を進めたかったので、最初から独学ではなく予備校での学習、そして通信の形で受講することを考えていました。数校比較をし、MMCの①キーワードや金型を中心とした解き方が自分にあっていた点、また、②オンライン学習への対応力の高さ、そして、③ZOOMでの個別相談の際に、とても親身になって相談にのっていただけたこと、などを理由にMMCでの受講を決めました。

### ■学習時間

学習は講座の開始に合わせて1月からスタートしました。2次試験までの10ヶ月間の総学習時間は約700時間でした。週末にまとまった学習時間を確保できなかったため、毎日2時間の学習時間を確保するように進めました。

ざっくりとですが、科目別の学習時間の割合は、組織が16%、流通と生産が20%、財務が44%でした。とにかく財務が苦手だったため、夏以降は財務にかなりの時間を投入してレベルアップに取り組みました。

通信の場合、受講するタイミングの自由度が高いため、授業のペースに遅れないように、自分なりの学習リズムを作って受講することを心掛けました。具体的には、火曜日に答練の問題を解き、水曜木曜で動画を視聴し、金曜から週末にかけて、復習と次回への準備、というパターンを基本として学習を進めていきました。

### ■学習方法

通信コースで実際に取り組んだ学習の内容をお話します。

MMCでは、①通信講座(通期)、②模試(4回)、③財務のGW集中ゼミを受講しました。

学習全般を通じて、MMCの授業、教材のみを学習しました。MMCのカリキュラムについて行くのが精一

杯で他のテキスト類を見る余裕もなく、2次試験受験用の有名な参考書や問題集、SNSの情報もほとんど見ませんでした。結果的には、これにより最後までMMCでの学習に集中ができ、効率かつ効果的な学習に繋がったのだと思います。

具体的な学習の方法を少し紹介します。キーワードについては、早い時期に暗記をしました。また、答練で出てきたキーワードを書く練習や、キーワードと事例文の関連性の整理などにより、キーワードを使えるものにして行きました。頭の中で各科目のキーワードを思い浮かべられるようになってくると、解答を作成する時間もだいぶ短縮できました。

財務については、苦手科目ということもあり一番時間を費やしました。通信講座の付属の問題集と、GWの財務集中ゼミの問題集を繰り返し行いました。全体で2回は行い、解けない問題は解けるようになるまで繰り返しました。他の科目と異なり、財務の学習には本当に時間がかかりました。

財務の答練が始まった2月末から本格的に学習をスタートしたのですが、もっと早くに開始していれば、もう少し余裕を持って進められたと思います。苦手な科目を後回しにせず、先に始めておくべきでした。財務が苦手な方は、早めのスタートと財務の学習時間確保を、計画的に進められると良いかと思います。

4回目の模試でようやく、ギリギリ合格点が取れましたが、他の科目と比較して財務への不安は大きかったです。そんな時に模試のアドバイスで、「難問は割り切って、経営分析、CVP分析、説明問題などの取り組みやすい問題を確実に取れるようにした方がよい」と指導をしていただきました。そこで、最後の1か月では、経営分析、CVP分析などの復習を丁寧に行いました。結果的に基本的な部分に注力したことが役立ちました。というのも、実際の試験では難問に全く歯が立たず空欄の状態だったのですが、経営分析や基本的なCVPの問題で確実に点を取れたので、何とか基準点をクリアできました。

過去問は、実際に時間内に解いてみるということはずらずに、設問の内容やどんなキーワードが使われているか、解答を見ながら確認することに使いました。これによって、各科目の頻出なキーワードの傾向を体感でき、キーワードの効率的な学習に繋がりました。

通信の場合は、通学とは異なり毎回のアドバイスを受けられないため、代わりに4回の模試を全て受験して、模試のアドバイス答案の機会を活用しました。模試の内容だけでなく、学習の進捗状況に沿った具体的な学習方法のアドバイスは大変参考になり、また、成績が良くなかった時には励ましの言葉をいただき、通信のみで孤独を感じることもあった中で、約二ヶ月に一度のこの機会は、大変ありがたかったです。一方で、毎週講師の方からアドバイスいただければ、もっと効率的な学習ができたのではないかと思います。

## ■まとめ

色々の記事をしましたが、MMCでの学習を振り返り、以下の点がポイントになったと思います。

- 2次試験の合格基準である60点を目標に
- 解答に空欄を残さず、80分間で書き上げる力をつけられたこと

実際の試験では、答練や模試よりも難しく、正直なところ自分の解答に全く自身はありませんでした。しかし、財務以外では空欄を残さず解答を書くことができましたので、それが部分点に繋がり、合格点に達したのだと思います。

すべての解答を埋めていけば6割の内容でも合格点を取れますが、1つでも空欄があると、8割近い内容が求められ厳しくなります。そこで、日ごろの答練から時間内に解答を埋めることは意識して取り組みました。本番の試験でその成果を出せてよかったです。

最後になりますが、1年間ご指導いただいた講師のみなさまに感謝を申し上げます。  
本当にありがとうございました。